

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名 (地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
白鷹町	山口地区 (ハケ森、新地、沖、佐野、山際、姫城)	令和4年2月18日	令和5年3月29日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	257ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	146ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	17ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	9ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	14.86ha

注：④の面積は、以下の「5 中心経営体」の「備考（今後引き受ける意向のある耕作面積）」欄の合計の面積を記載します。

## 2 対象地区の課題

法人、あるいは、認定農業者などの中心経営体への集積、分散錯圃の解消を図り、効率的な経営を目指す。また、担い手への集積・集約化の一方で、農道や水路などの維持管理については、土地の所有者のみならず地域の方々からの協力をいただき、地域環境の保全に取り組んでいくものとする。

注：「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載します。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体である、認定農業者の農事組合法人グリーンアースYS、姫城中川ファーム（株）への農地集約を進めながら、新たな中心経営体を育成していく。

注：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と町が判断する集落営農及び町の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。